

例題 2

助教授 濱本 正太郎

shotaro@rokkodai.kobe-u.ac.jp

4月26日までに e-mail で届いた答案は添削してお返しします。添付ファイルでなく、本文に答案を書いてください。

以下は、2002年2月3日付朝日新聞の記事である。教科書 pp. 217-220 を熟読の上、問に答えよ。

「ロンドンから南へ1700キロ。イベリア半島の南端が世界の果てと信じられていた昔から、地中海への出入りを制する位置ゆえに要塞化され、幾多の戦争を見守ってきた町だ。憲法と議会、広範な自治権を有する政府をもつとはいえ、今もれっきとした英国植民地である。

だが、18世紀初頭の条約でこの土地を割譲した隣国スペインは、その後英国の主権を否定。国連でも「英国植民地政策の不当性」を訴え続け、返還を求めてきた。300年にわたる領土紛争は、今日まで残るものとしては最古のひとつだろう。

ブレア英政権が、02年夏までにスペインとの間で問題を包括的に解決すると宣言したのが昨年秋。「共同主権構想」を軸とした協議が本格化する。両国はNATO（北大西洋条約機構）とEU（欧州連合）で席をともにする同盟国だ。ブレア、アスナール両首相の親密さはよく知られる。独仏主導の欧州運営をけん制するためにも、関係の緊密化は双方の利益ということであろう。

ところが、この動きが肝心の地元ジブラルタルを揺さぶる。67年の住民投票では、英国残留を望む人が99%を超えた。「今やっても同じ結果だ」とカントス氏。人口3万足らずの町の家々に英国国旗が掲げられ、「共同主権」や交渉自体に反対するデモが熱を帯びてきた。」

問 住民投票が行われ、今回も99%以上の現地有権者がイギリス残留を望む場合、イギリス及びスペインは割譲によりジブラルタルに対する権原を移転させることができるか。